

ガステーブル

天ぷら油過熱防止機能付

家庭用

取扱説明書

保証書付

品名 RN-A249P-CHL

機器コード…1673475

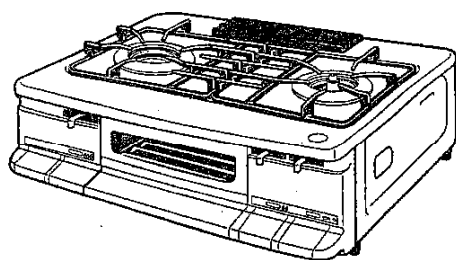
RN-A249P-CHR

機器コード…1671476

形式の呼び RTS-400TK-L RTS-400TK-R



よく読んで
安全に正しく
お使いください。



もくじ	ページ
安全上のご注意 (必ずお守りください)	1・2・3・4・5・6
各部のなまえ	7・8
機器の設置	9・10・11
コンロ・グリルの使いかた	12・13・14・15
各装置・電池交換サインについて	16
お手入れのしかた	17・18・19
長期間使用しない場合	19
故障かな?と思ったら	20
アフターサービス	21
仕様	21
保証書	22

ご愛用の皆様へ

このたびはガステーブルをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

- ご使用前にこの取扱説明書を最初から最後までお読みいただき安全に正しくお使いください。
- この取扱説明書はP22が保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、保証書とともに大切に保管してください。
- 幼いお子様にはさわらせないでください。
- この製品は家庭用です。業務用のような使いかたをされますと著しく寿命が縮まります。
- この製品は国内専用です。海外では使用できません。
- 取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店またはよりの東京ガスにて再購入してください。

3 安全上のご注意 (必ずお守りください)

警告

- グリル排気口をふさがない
グリル排気口の上をなべ・アルミはく・ぶきなどでおさぐと異常発熱し、不完全燃焼や火災の原因になります。
- チャオバーナー側を壁側に設置しない
壁面の火災を防止するため標準バーナー側を壁側になるよう設置してください。

注意

- 使用後は消火を確認しガスをしめる
消し忘れによる火災の原因になります。特にグリル使用時は注意してください。
- お手入れが必要などころ以外は絶対に分解したり修理、改造は行わない
ガス漏れや故障の原因になります。

注意

- グリル燃網の上や下にアルミはくを敷かない
アルミはくの上に燃網がたまり発火する原因になります。
- グリル水入れ皿の出し入れはゆっくり
水平にゆっくり出し入れしてください。グリルとびらを長く上げたまま引き出すと途中で止まらずに落下し、お湯がこぼれてやけどをすることがあります。
- グリル排気口をのぞきまさない またなべの取っ手をグリル排気口に向けない
グリル使用時は排気口から高温の排気が出ています。やけどをしたり、取っ手をこがす原因になります。

注意

- 角の裏返しや取り出し時などは、グリルとびらガラスやグリルとびら上端に触れない
手や顔が熱いものとやけどをすることがあります。
- グリル水入れ皿には必ず水(約350ml)を入れて使う
また、たまった脂は取り除く
水がない場合はたまった脂が過熱されて発火することがあります。鍋を使って使う場合も、そのつど脂を取り除き水をいれください。なお、お湯以外のものは、入れないでください。
- グリルとびらガラスに水をかけない
熱を加えない 傷をつけない
ガラスが割れてけがや、やけどの原因になります。また、とびらが変形したり、開かなくなります。

取扱説明書	RN-A249P-CHL <RTS-400TK-L>	1	6	7	3	4	7	5	13031
	RN-A249P-CHR <RTS-400TK-R>	1	6	7	1	4	7	6	

注意

- グリル使用前にグリル室内に食品くずやぶきなどがないことを確認すること
食品くずやぶきが燃えることがあります。
- グリル水入れ皿だけを保持して本体より取り外さない
グリルとびらが落下し、やけどやけがをすることがあります。必ずグリルとびら取っ手を保持して取り外してください。
- グリルとびらに熱いものをのせたり、強い力を加えない
グリルとびらが壊れ、けがや機器故障の原因になります。
- 強い風の吹込む場所に機器を設置しない
機器内部の燃焼や安全装置が正しく作動しないなどの原因になります。また、点火不良の原因にもなります。
- アルミはく触れる受け皿を使用しない
炎が接触し異常発熱や不完全燃焼の原因になります。また、点火不良や途中で消火の原因にもなります。
- 衣類の乾燥や暖房の火起こしなど調理以外の用途に使用しない
異常発熱し火災や機器焼損の原因になります。

注意

- グリル水入れ皿の持ち運びはていねいに
使用直後はグリル水入れ皿の水は高温になっていますので、こぼすとやけどをする原因になります。
- コンロ・グリル使用中はバーナー付近や排気口に体の一部や衣服を近づけない
炎や熱で衣服に燃えついたり、やけどの原因になります。
- 使用中、使用直後は操作ボタン、つまみ、グリルとびら取っ手以外はさわらない
やけどをすることがあります。とくに幼児や子供が触れる家庭ではご注意ください。
- 強い風の吹込む場所に機器を設置しない
機器内部の燃焼や安全装置が正しく作動しないなどの原因になります。また、点火不良の原因にもなります。
- 不安定な場所に設置しない
機器が傾いてなべなどがすべり落ち、やけどやけがをする原因になります。
- コンロをおおような鉄板などは使用しない
不完全燃焼や異常発熱し火災や機器焼損の原因になります。自然34cm以上のなべは使用しない
てください。

5 安全上のご注意 (必ずお守りください)

△注意

■**こごとくをはずしてなべなどを直接コンロに置いて使用しない**
不完全燃焼や燃焼腐敗の原因になります。

禁止

■**使用中は換気をする**
一酸化炭素中毒の原因になります。ただし、自然排気式お湯沸かし器などを使用している場合は、換気扇を回さないうで窓をあけて、換気をしてください。換気扇を回すと排気ガスが逆流することがあります。

禁止

■**やかん、なべなどの大きさに合わせて火力を調節する**
火力が強いとやかんやなべなどの取っ手が燃焼したり、手に触れるとやけどをする原因になります。

禁止

■**点火するときはバーナー付近に顔などを近づけない**
炎や熱でやけどをすることがあります。

禁止

■**指定以外の補助具は使用しない**
不完全燃焼や異常過熱により火災や燃焼腐敗の原因になります。

禁止

■**バーナーリング、しる受けカップは正しくセットする**
バーナーの炎がしる受けカップやトッププレートの下にもぐり込み火災や燃焼腐敗の原因になります。

禁止

【標準バーナー(天ぶら油過熱防止機能付)】

正しくしる受けカップにセットすること

【チャイバーナー】

正しくしる受けカップにセットすること

6

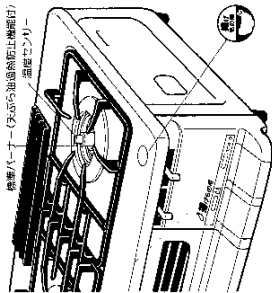
天ぶら油過熱防止機能付バーナーについて(標準バーナー側)

揚げ物の調理で、消し忘れ等による調理油の過熱を防止する機能です。温度センサーでなべ底の温度を感知し、油が自然発火温度に達する前に自動的にガスを止めます。このとき、フーガーが鳴ってお知らせします。

※天ぶら油過熱防止機能がついているバーナーは右図のように前面パネルに揚げ物の用と表示してあり、トッププレート上面には「」のシールが貼ってあります。

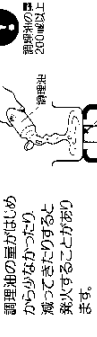
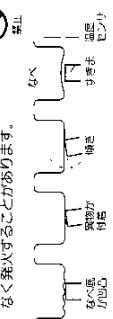
△注意

- 揚げものの調理をされるときは、必ず標準バーナー(天ぶら油過熱防止機能付)を使用する



△警告

- 温度センサーの上面となべ底が密着していないときは使用しない



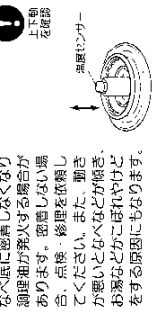
- 標準バーナー(天ぶら油過熱防止機能付)で油料理をするときは、耐熱ガラス容器・土なべなど熱が伝わりにくいものは使用しない

調理油が発火することがあります。



△注意

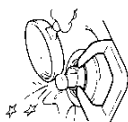
- 温度センサーは、上下にスムーズに動きやすくなるように確認する



なべ底に密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。密着しない場合、点検・修理を依頼してください。また、動きが悪いとなべなどが傾き、お湯などがこぼれやけどをする原因にもなります。

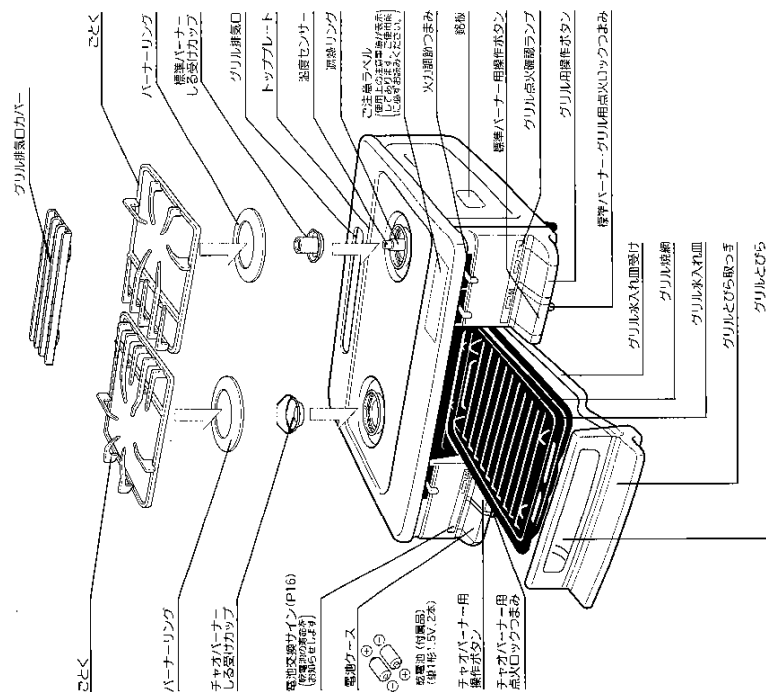
- 標準バーナー(天ぶら油過熱防止機能付)では、中華ごとく(別売)を使用しない

なべ底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火することがあります。

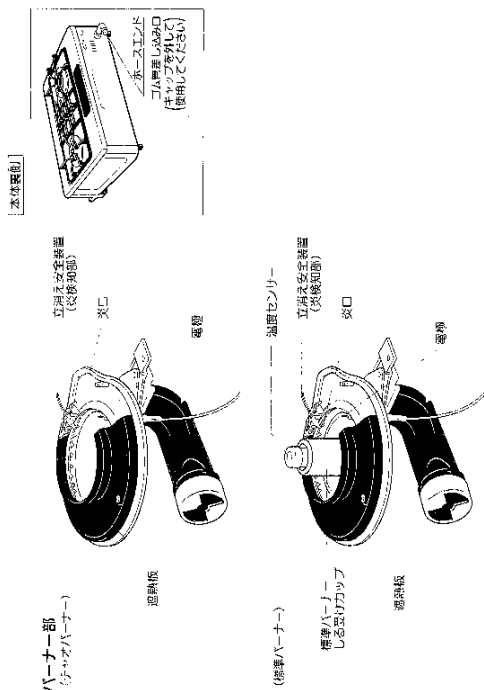


7 各部のなまえ

図のように正しくセットしてください。
図はRN-A249P-CHLです。
RN-A249P-CHRはチャオバーナーとも
バーナーが左右逆になっています。

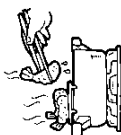


88



天ぷら油過熱防止機能

天ぷら・フライなどの揚げもの調理中で、消し炭等による調理油の異常過熱を防止します。



バーナー

衣が内側に出来ますのでなべ底からの炎のあふれが少なく、またバーナーがトッパプレートの下に隠れていまずので黒こぼれによる目づまりがおこりにくくなりました。

アッ森コートツブプレート

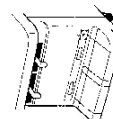
トッププレートはフッ素加工してありますので、焦こまれがつきにくくお手入れが簡単です。

立消元安全裝置

燃こばれなどで火が消えると、ガスを自動的に止めます。

ザリル点火確認ランプ

グリルをのぞきこまな
くてもグリルに点火し
たことをランプにより
お知らせします。ラン
プが点灯したら手をは
なしてください。



グリルとびら

グリルとびらを引き出すとグリルとびらが下がり魚の返し、取り出しがカンタン。また、グリルとびらがワンタッチで脱着でき、お手入れがしやすくなりました。



9 機器の設置

設置前の準備と確認

△警告

■換熱板のガス種（ガスグループ）と使用ガスが合っているか確認します

- ・形式の呼び・ガス種・製造年月は、機器右側面の銘板に表示されています。
- ・輸送のため密閉部分にあって紙や包装部材がありますので、全部取り除いてください。
- ・付属品の単1形乾電池（2個）が同梱されています。

ガス種（ガスグループ）

形式名: 形式の叫び 12A・13A 燃焼ガス 都市ガス

ガス消費量 12A用 13A用

製造年月 製造年月および製造番号

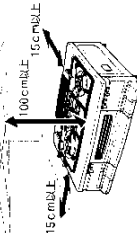
リナイ株式会社

■設置場所及び周囲の防火措置

- 次のような場所に設置してください。
 - ・強い風の吹込まない場所
 - ・又水で水平な場所
 - ・落下物の危険のない場所
 - ・付近にカーテンなど燃えやすいものがない場所
- ・機器の上に可燃物の燃焼器具のない場所
- ・機器の上に油流路のない場所
- ・ガス缶が燃焼を使用した場合過熱されない場所

■周囲に可燃物（本製の壁、たななど）のある場合はつぎのように設置してください。

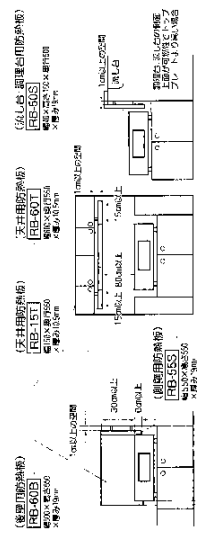
・トッププレートより上の側面および後面は15cm以上、上部はトッププレート上面より100cm以上離して設置します。



△警告

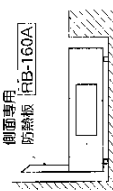
- 設置するときは可燃物との距離を確実に離す
- 設置後機器の周囲を改装する場合も可燃物との距離を確実に離す
- チャオバーナー側を壁側に設置しない

■可燃性の壁（モルタル、タイル、ステンレス板など）を覆った可燃性の壁（モルタル）から15cm以上、また、上部はトッププレート上面から100cm以上離して設置できない場合は、壁面に別売の防熱板を取り付けてから設置します。



●側面専用防熱板

60cm幅のガスに設置される側面が可燃性の壁の場合に機器本体に取り付けて使用します。



（お願い）

- ・防熱板についてはお買い上げの販売店またはお買い上げの東京ガスにお問い合わせください。
- ・指定の防熱板以外は絶対に使用しないでください。

取扱説明書

RN-A249P-CHL <RTS-400TK-L>
RN-A249P-CHR <RTS-400TK-R>

1 6 7 3 4 7 5
1 6 7 1 4 7 6

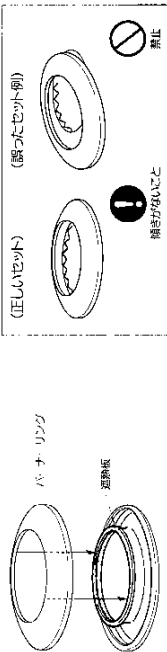
13061

10

部品の取り付け

バーナーリング

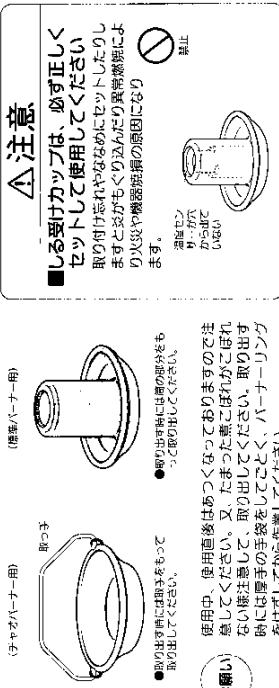
バーナーリングは2個とも同じで左右共通です。逆熱板の上に正しく嵌せてください。バーナーリングが浮いた状態にしたり、バーナーリングに嵌りあがって異常燃焼が起る場合もあります。



リングは使用中、使用直後はあつくなつております。注意してください。表面はローラー仕上となつております。ふれなどが傷つくことがありますので、こまめに掃除をしてください。よごれが燃えつきつても性能は変わりません。

しる受けカップ

しる受けカップは、必ず正しくセットして使用してください。取り付け忘れやなめかにセットしたりしますと、お灸がもぐり込みたり異常燃焼により、引火や機器故障の原因になります。



（お願い）

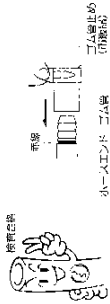
- 乾電池の寿命は、乾電池の種類によっても異なりますが、通常約1年を目安としてください。乾電池に必ず2個とも同種類の新品をご使用ください。
- 付属の乾電池は、工場の出荷時に組み込まれたもので、自然放電のため寿命が短くなつていない場合があります。



11 機器の設置

ゴム管の接続

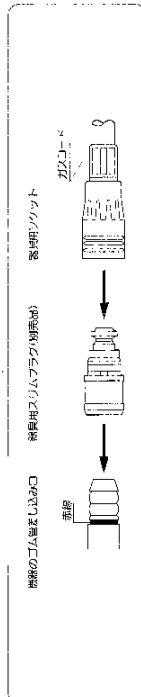
ゴム管はガス用ゴム管（ソフトコート内径φ9.5mm、JISマーク入り）を用い、折れたりねじれたりしないようにして、できる限り長く（2m以下で適当にゆとりをもち）ガス栓と機器のホースエンドとを接続します。このときゴム管は赤線までしっかりと差し込みゴム管止め（付属品）で固定してください。また機器に接触しないようにして接続します。



ガスコードなどでコンセント接続する場合

ガス機器側の接続

機器のゴム管差し込み口をコンセント化してガスコードでコンセント接続する場合

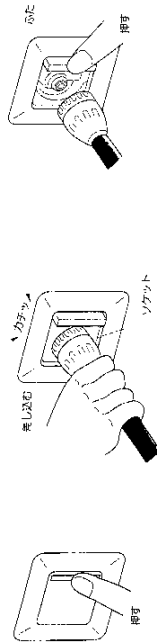


上図のように、必ず別売の器具用スリムプラグを器具用プラグ取付台裏の裏面に記載してある取付説明に従って機器のゴム管差し込み口に取付け、次にガスコードの器具用ソケットを器具用スリムプラグに「カチッ」と音がするまで押し込みます。

ガス栓側の接続

「ガスコンセント」は、ガスコードなどを取付けるに自動的に開栓し、取外すと自動的に閉栓します。

- ◆ 取外す
ふたを開ける
「カチッ」と音がするまで差し込みます。
- ◆ 取外す
右端にあるふたを押しします。



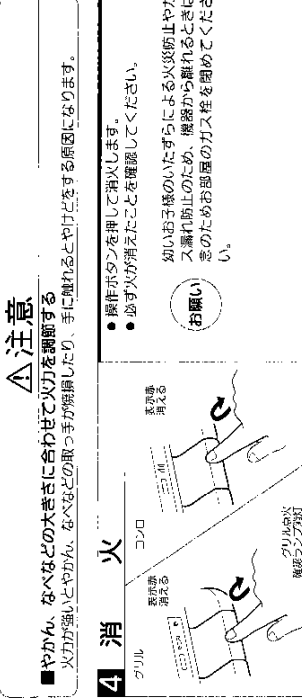
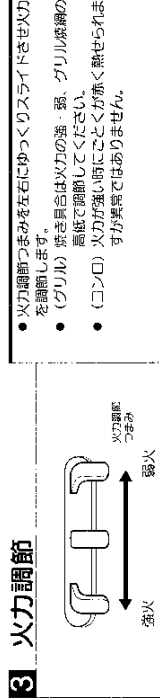
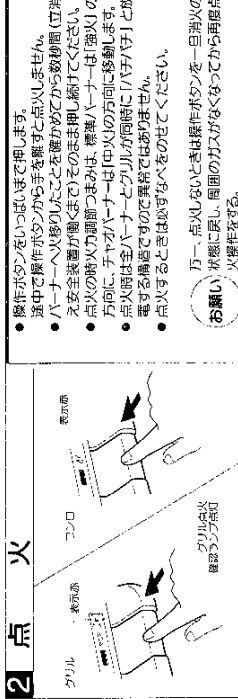
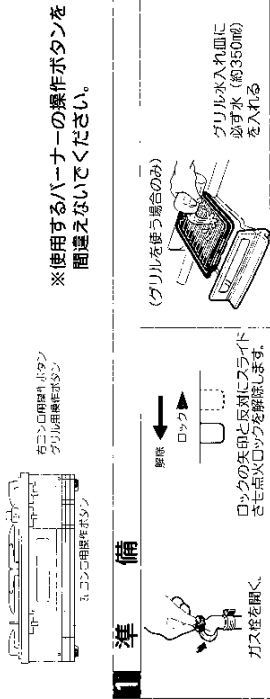
コンロ・グリルの使いかた

12

取扱説明書

RN-A249P-CHL <RTS-400TK-L>
RN-A249P-CHR <RTS-400TK-R>

1 6 7 3 4 7 5
1 6 7 1 4 7 6 13071

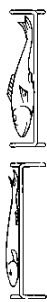


15 コンロ・グリルの使いかた

グリルで上手に焼くには

グリル焼網の高低

裏紙で焼網の高さが変えられます。焼き物の大きさ、種類により高低を調節してください。



魚の尾やヒレは?

こげやすい魚の尾やヒレはアルミはくで包んだり、厚めに塩をふりかけたりします。



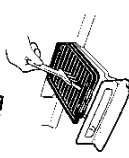
予熱が必要

あらかじめ3〜4分予熱しておくことできれいに焼きあがります。

つけ焼き・照り焼きなどのつけやきやすいもの、火の通りの悪い魚の厚い魚などは、予熱せずに焼いてください。

グリル焼網に油

グリル焼網にサラダ油などを塗っておくことで、焼き上がり後材料が焼網に付着しにくく取り出しやすくなります。



グリル水入れ皿の出し入れ

正しいセットのしかた



引き出すとき

グリルとびらを止まるところまでしっかりと引き出すと、グリルとびらに付着した焼き物の出し入れ、反転、確認が簡単にできます。



持ち運ぶとき

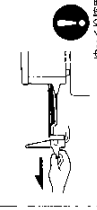
グリルとびらを取っ手をしっかりと持ち、水平にゆっくりに持ち運んでください。



△注意

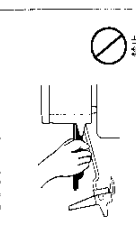
■グリル水入れ皿の出し入れはゆっくり確実に

水平にゆっくりに出し入れしてください。グリル水入れ皿を持ち上げたまま引き出すと途中止まらず落下し、お湯がこぼれてやけどをすることがあります。



■グリル水入れ皿だけを保持して取り外さない

グリルとびらが落下し、やけどが危ういことがあります。必ずグリルとびらを取っ手で取り外してください。



■使用中・使用直後は、操作ボタン・つまみ・グリルとびらを取っ手以外にはさわらない

やけどをすることがあります。とくに強いお子様がいる家庭ではご注意ください。



取扱説明書

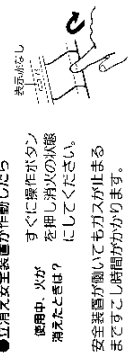
RN-A249P-CHL <RTS-400TK-L>
RN-A249P-CHR <RTS-400TK-R>

1 6 7 3 4 7 5
1 6 7 1 4 7 6 1 3 0 9 1

各装置・電池交換サインについて 16

立消え安全装置

●立消え安全装置が作動したら
●立消え安全装置が作動したら、ガスを自動的に止めます。

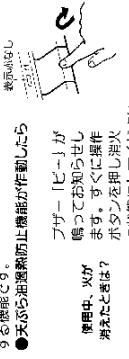


●立消え安全装置が作動したら、ガスを自動的に止めます。

●立消え安全装置が作動したら、ガスを自動的に止めます。

天ぷら油過熱防止機能 (標準バーナーのみ)

●天ぷら油過熱防止機能が作動したら
●天ぷら油過熱防止機能が作動したら、油の温度を感知して自動的に火を消します。



●天ぷら油過熱防止機能が作動したら、油の温度を感知して自動的に火を消します。

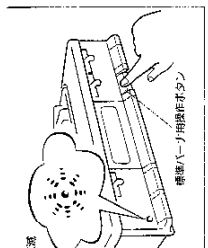
●天ぷら油過熱防止機能が作動したら、油の温度を感知して自動的に火を消します。

電池交換サイン

●電池交換サインが点灯したら、乾電池を新しい乾電池に交換してください。

●電池交換サインが点灯したら、乾電池を新しい乾電池に交換してください。

●電池交換サインが点灯したら、乾電池を新しい乾電池に交換してください。



17 お手入れのしかた

警告

- 点検・お手入れが必要など、**絶対**に分解したり修理改造は行わない。
ガス漏れや事故の原因になります。

お願い

- 点検・お手入れの前には必ずガスを閉じ、機器が冷えてから行ってください。
- けがをしないように手袋などをはめて行ってください。
- 機器本体に水をかけたり、丸洗いしないでください。

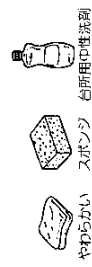
●日常の点検

- 機器周辺に燃えやすいものが置いてありませんか
- バーナーリング、しる受けカップなどは正しくセットされていますか
- グリル水入れ皿に脂がたまっていますか
- ガス管の接続は漏れですか
- ガス管は傷んでいませんか
- 立消え安全装置が汚れていませんか
- バーナーが焦げなどでつまっていますか

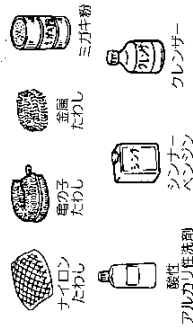
●お手入れ

- 機器本体には安全に関するご注意ラベルが貼付してあります。汚れたときはやわらかい布などで汚れをふきとってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。
- もしはがれたら剥がれなくなつた場合は、お買い上げの販売店またはよりの業者ガスを新しいラベルを再購入のうえ、貼り替えてください。

使って良いもの



使っていけないもの



機器本体、ごくくバーナーリング

- 表面が汚れたらそのつと濡れがきんでふきとってください。
- 汚れたとき
- 台所用中性洗剤をきませにスポンジで、やわらかい布で、お手入れし最後に乾いた布でふきとります。
- 汚れが落ちないとき
- 台所用中性洗剤で汚れた部分を濡らせておき、お手入れした後水流し洗いを、けがをしないよう手袋などをはめてください。
- （例）バーナーリングは、お手入れをしない、よこれが腐食することがありますので、お手入れしてください。

取扱説明書

RN-A249P-CHL <RTS-400TK-L>
RN-A249P-CHR <RTS-400TK-R>

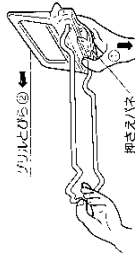
1 6 7 3 4 7 5
1 6 7 1 4 7 6 13 101

18

グリル水入れ皿・グリルとびら・水入れ皿受け

中性洗剤で洗って乾いた布で水気をふきとってください。

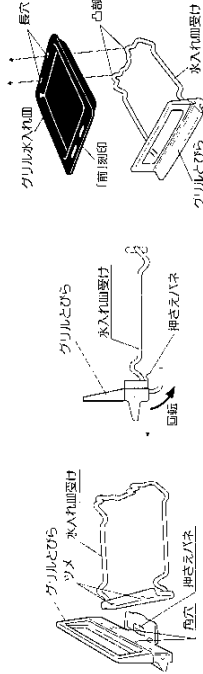
- 取り外しかた
① 押さえるハネを①の方向に下げる。
② グリルとびらを②の方向におろす。



取り付けかた

- ① 水入れ皿受けのツメ2カ所をグリルとびらの角穴にはめ込む。

- ② ①の方向にグリルとびらを回転させる。
押さえるハネが水入れ皿受けに確實にはまっているか確認する。



しる受けカップ

取りはずして中性洗剤などで水流し洗ったのち水気をふきとってください。
お手入れをしない、よこれが焦げつくことがありまふので、おまめにお手入れしてください。



- 使用後はしる受けカップ、取っ手はあつてくいますので、直接手を離れたりしないでください。
お手入れの際は必ず冷えてから取っ手の取っ手をしてください。
- おまめにお手入れする場合は、特に手カバーナー用しる受けカップは取り出す時に不安定ですので、握きこぼれなどを、紙などで取りとてから取り出してください。

フッ素コートトッププレート

- 中性洗剤（野菜、魚類洗い用）でお手入れ後、乾いた布で水気を十分とってください。
- トッププレートは簡単に取りはずします。取りはずす場合は、ごくくバーナーリング、グリルガードなどを取りはずした後、機器前後の隅を上へ持ち上げてください。



お願い

- トッププレートのごとくが乗っている部分はフッ素樹脂がはがれることがありますが、そのままお使いいただいても問題ありません。
- トッププレートを取りはずすときは、けがのないよう手袋などをはめてください。
- 汚れたまま使用している、シミが深まりますので、こまめにお手入れしてください。
- 台所用中性洗剤以外の洗剤や熱いものでおまめに入るとフッ素樹脂がはがれ、シミや変色の原因となりますので使用しないでください。

19 お手入れのしかた

立消え安全装置・点火プラグ

立消え安全装置・点火プラグに汚れがこびりついている部分は綿ブラシなどのやわらかいブラシで汚れを落としてください。

お寒い

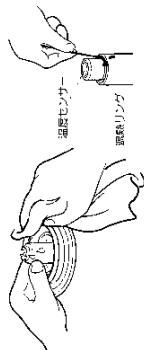
かたいブラシなどで決して洗ってはいけません。故障の原因となります。

温度センサー

温度センサーの周囲についた煮汁やゴミは、水に浸しがたくしぼった布でふきとってください。

お寒い

- 芯とる場合は温度センサーを手でささえってください。
- 燃焼リングと温度センサーの間の煮汁・ゴミなども針金で掃除してください。



△注意

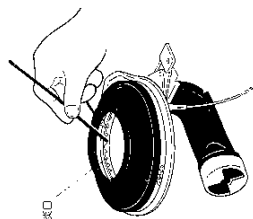
温度センサーは上下にスムーズに動くことを確認する

なべ底と密着しなくなり調理油が飛出す場合があります。



バーナー

バーナーの炎口が煮こぼれなどで目詰まりしたり、汚れがひどい場合、炎が不安定になったり、不完全燃焼したり、点火しないことがあります。炎口を細い針金状のものできれいに掃除してください。



長期間使用しない場合

- お部屋のガスを必ず確認してください。
- 乾電池を外しておく。
- お手入れをおくと、次回使用するとき便利です。

故障かな?と思ったら

調べてみると故障でない場合もあります。修理を依頼する前に、もう一度チェックしてください。

現象	原因	処置	参考
点火しない	ガスの開き忘れ	お部屋のガスを全開にしてください。	P12
	ガス圧の低下	ガス圧の低下を確認してください。	P19
	ガス圧の低下	ガス圧の低下を確認してください。	P19
点火しにくい	温度センサーの不具合	温度センサーを交換してください。	P16
	温度センサーの不具合	温度センサーを交換してください。	P16
	温度センサーの不具合	温度センサーを交換してください。	P16
点火しにくい	配管に空気が残っている	配管に空気が残っている場合は、空気を抜いてください。	P20
	配管に空気が残っている	配管に空気が残っている場合は、空気を抜いてください。	P20
	配管に空気が残っている	配管に空気が残っている場合は、空気を抜いてください。	P20
点火しにくい	温度センサーの不具合	温度センサーを交換してください。	P16
	温度センサーの不具合	温度センサーを交換してください。	P16
	温度センサーの不具合	温度センサーを交換してください。	P16
点火しにくい	温度センサーの不具合	温度センサーを交換してください。	P16
	温度センサーの不具合	温度センサーを交換してください。	P16
	温度センサーの不具合	温度センサーを交換してください。	P16
点火しにくい	温度センサーの不具合	温度センサーを交換してください。	P16
	温度センサーの不具合	温度センサーを交換してください。	P16
	温度センサーの不具合	温度センサーを交換してください。	P16

△警告

使用中に異常を感じたときはすぐに使用を中止する
あわてずガスを閉めてください。



● はじめてグリルを使用しますとグリル内の加工油が燃けて煙がでます。グリル永入れ皿に必ず水（約350ml）を入れ、約15分待ち、から煙を止めてください。

こんなときは異常ではありません

- 点火しにくい
朝一番で使用するときは、ガス圧が低い場合があります。ガス圧が上がると、点火しやすくなります。
- 点火・消火の時、煙がでる
点火・消火時に「パチン」という音がすることがありますが、これは着火する際の音、火が消えたときの音で、異常ではありません。
- 点火・消火の時、煙がでる
点火・消火時に「パチン」という音がすることがありますが、これは着火する際の音、火が消えたときの音で、異常ではありません。



取扱説明書

RN-A249P-CHL <RTS-400TK-L>
RN-A249P-CHR <RTS-400TK-R>

1 6 7 3 4 7 5
1 6 7 1 4 7 6 13 111

